



**2022年  
8月号**

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者  
司祭 瀬山 会治

印刷所  
文明堂印刷所

# チャプレン —平和をつくりだす人—

司祭 トマス 河村 博之



わたしは、神戸国際大学チャプレンとして、4年目を迎えました。最初の2年間は、神戸聖ミカエル教会副牧師を

かねておりましたので、週3回の勤務でした。2021年より、専任となり、現在に至っています。よく聞かれることは、「チャプレンは、どんな仕事をしているの」という質問です。

チャプレンとは、学校・施設などに属する牧師(主教・司祭・執事)のことです。本学では、チャペルでの礼拝の執行、キリスト教センター関連の運営はもちろん、会議・行事での開会・閉会祈祷など、様々な場面での活動がありま

す。附属高校との合同行事にも関わるため、大学だけでなく、学院全体のことも念頭に置かなければなりません。

幸いなことに、わたしは本学第20回の卒業生です。在学中、当時の大学チャプレンのもとチャペル活動を通じ、大学・高校との連携の上に活動してきた経験が役に立ちました。むしろ、学生の時には及びもつかなかった出来事に触れ、チャプレンを初めとする多くの方々のお支えと祈りのうちに、垂水の山の上での学生生活を過ごすことができたことに、感謝の意を新たにしています。

今度は、わたしがお返しする番です。わたしがいつも心がけていることがあります。

『平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。』(マタイによる福音書5章9節)。「平和」とは、戦争・紛争等、争いごとがない生活を思い起こさせます。確かに、昨今の情勢は、このことを思わずにはいられません。一日も早い解決を望むものです。もう一つ、「主がともにおられること」をお互いに思い起こすことにあります。聖餐式の中で、平和の挨拶があります。ここでの挨拶は、「主がともにおられる」ことをお互いに確認しあうことにもつながります。本学には、不特定多数の背景を持った、学生・教職員がいます。「キリスト教って何?」「入学してキリスト

教の学校だと気づいた」という学生もいます。信仰を持つておられる方も少なからずいます。反対に、教えられることも多々あります。

垂水から六甲アイランドに移転して、今年で20年、校名が八代学院大学から神戸国際大学へ変更し、30年が経ちました。また、来年2023年は、学院創立60周年を迎えます。日々の礼拝や出会いを通して、学院(大学・高校)にとって主の平和と安定のため祈り求める者でありたい、そう願いながら、日々の業務に当たっています。

主にあるお交わりを、これからもよろしく願いいたします。

本学のホームページをご覧ください。  
<http://www.kobe-ku.ac.jp/>

(神戸教区付・神戸国際大学チャプレン)